

地域貢献活動の一環としNPO法人に寄付を行いました(本部)

平成30年1月11日(月)本部役員会議室において、大島理事長より特定非営利活動法人OnPal(オンパル)理事長真隅様へ、寄付金(10万円)を贈呈いたしました。

特定非営利活動法人OnPalでは、福岡市立こども病院や九州大学病院等で、重い病気で入院している子供たちへ音楽が持つエネルギーを魂に直接働きかける力によって元気になってもらえることを目的に、音楽家の方の力を借りて活動されている団体です。



大島理事長より、「次世代を担う子供たちが重い病気に打ち勝つための手助けとなる活動に共感し、一助となればとの思いで寄付させていただきます」との旨を真隅理事長にお伝えし、目録を手渡されました。

真隅理事長様からは、「闘病できつそうな顔の子供たちが、音楽を聴いた後に笑顔を見せてくれる。一人でも多くの子供たちに音楽を楽しんで、元気になってもらえるように大切にに使わせていただきます」との、お礼を頂きました。

現在、OnPalでは福岡県内での活動ですが、2018年には佐賀、熊本でも活動展開を計画され、九州各県に広げていく計画もお持ちのため、少しでも多くの方に認知いただけるように、電気新聞にも(H30.1.19)掲載させていただきました。

OnPalの活動に関心がある方は、パンフレットを貼付していますのでご覧ください。
以 上



8%減のにもともと需要が低迷が一巡し、低調な状態西日本はしていた鋼管鉄塔は前が続けている。

店長をはじめ、同社役員や協力会社など計1

き、新春懇親会を開催。あいさつした牧田支店

た。作業員はLINE上で日報365を友だち追加することで、日報365に蓄積されてる自身の手配情報や工数実績などを確認できる。手配情報を確認する際、管理部門などに連絡する手間が省けるなど利便性向上につながる。

日報365の操作や閲覧はセキュリティの問題上、管理者と職

劣化度の自動診断も可能だ。

従来の棧橋調査は3人程度の調査員が小型船に乗り込み、船上から観察していた。劣化診断は調査員が船上で撮影した写真やスケッチ図をもとに判定する方法が一般的だが、潮位の影響で調査時間が限られたり、狭い場所ではデータが不足したりするなどの課題があった。

川内でメガ太陽光

東光電工 休止中の送電線活用

工事は17したと発表した。川内約1600万キロワットの福島市、村の村有地を活用し、なる見込み。東京電力メカソーラーを2カ所（大中合、大津辺）建設会社（SP）とする。

年間発電電力量は各送電線を活用して首都圏に送電し、東京五輪では正月飾りやお札の位置する大崎八幡宮まで約5キロの道のりを、およそ2時間かけて堂々として練り歩いた。境内

「バラリンピックに福島島の再生可能エネルギーを供給することを目指す。」

事業では、東光電工がEPC（設計・調達・建設）を請け負う。敷地面積はそれぞれ40万平方メートル程度で、出力はいずれも1万6千キロワット。発電電力は東京電力が買い取る。

た。作業員はLINE上で日報365を友だち追加することで、日報365に蓄積されてる自身の手配情報や工数実績などを確認できる。手配情報を確認する際、管理部門などに連絡する手間が省けるなど利便性向上につながる。

日報365の操作や閲覧はセキュリティの問題上、管理者と職

る。裸参り々々出発します」と答えた。

参加者は隊列を組んで本社を出発。仙台駅やアーケード街などを

抜け、本社から北西に位置する大崎八幡宮まで約5キロの道のりを、およそ2時間かけて堂々として練り歩いた。境内

では正月飾りやお札の位置する大崎八幡宮まで約5キロの道のりを、およそ2時間かけて堂々として練り歩いた。境内

協安保九州 NPO法人に寄付金

病気の子を音楽で笑顔に

九州電気保安協会（大島洋理事長）は、このほど、音楽の力で病気の子どもたちを元気づけるボランティアNPO「OnPal」（オன்பール）（福岡市、真隅理理事長）に寄付金10万円を贈呈した。オ

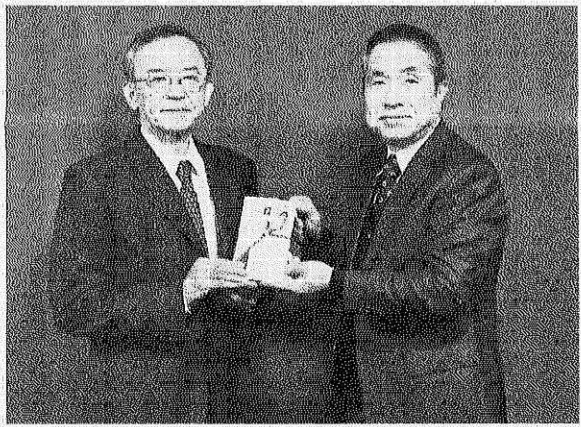
贈呈式は福岡市内の九州保安協本部会議室

で15日に開催。大島理事長は「たくさんの子どもたちが、元気になるのを助ける一助にしてほしい」と言葉を添えて、真隅理事長に目録を手渡した。

真隅理事長は「闘病できつそうなお顔の子どもたちが、音楽を聞いた後に笑顔を見せてく

た。作業員はLINE上で日報365を友だち追加することで、日報365に蓄積されてる自身の手配情報や工数実績などを確認できる。手配情報を確認する際、管理部門などに連絡する手間が省けるなど利便性向上につながる。

日報365の操作や閲覧はセキュリティの問題上、管理者と職



大島理事長（右）からOnPalの真隅理事長に目録が手渡された

れる時は、本当につれしく思う。活動に賛同して頂いた寄付は大事に使わせてもらいます」と謝意を示した。

九州保安協では2017年度から事業活動の重要な取り組みとして、地域社会貢献活動として位置付けており、新たに地域に密着した活動に注力している。今回の寄付金贈呈もその一環。

無線式LANポートは遠隔操作とカメラの操作が可能。カメラは高性能のジンバル（動揺抑制装置）を搭載し、波浪によるカメラのぶれを抑える。撮影方向を操作・保持することで効率よく撮影できるという。

撮影画像から3次元モデルが構築され、専用ソフトを用いて凹凸密度や剥離面積の有無、鉄筋の露出面積割合などを自動的に劣化度を自動で判断。CAD図や部材の劣化度合いなどの情報を盛り込んだCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）モデルとしてデータを蓄積できる。

CIC日本建設情報センターは施工管理技士を専門として高い合格実績。最大3日間の短期講座とDVD通信講座の選べる学習スタイルで最短合格！

1・2級 平成30年(2018年)受験準備講習会

電気工事施工管理技士

その他取扱い：建築・土木・管工事・給水装置工事・ビル管理士

全講座お申込み受付中！！【開催地】東京・横浜・埼玉・大阪・名古屋・仙台・新潟・広島・福岡

重い病気の子どもたちに 音楽プログラムを届ける活動



特定非営利活動法人OnPal

スタートは？

～アート・デザイン・音楽で元気に～
元気アートプロジェクトの誕生



2006年3月開設した新病棟：九州大学病院小児医療センター
デザインコンセプトは「森のお医者さん」



九州大学芸術工学研究院の佐藤 優教授を中心とした九州大学ユーザーサイエンス機構がプロデュースした温かくやさしい「森」のイメージの病棟はグッドデザイン賞を受賞しました。

小児科新病棟というハードはできたが、ソフト即ち、子供たちを元気づける活動やしくみが
必要だという佐藤教授の考えに、デザイナーや音楽家が賛同して
“元気アートプロジェクト”(通称：GAP)が結成されました。



元気アートプロジェクトとは

【目的】

元気アートプロジェクトは、芸術、デザイン、音楽の専門性を活かして、感性を刺激するアートの力によって、それぞれの内面から元気を呼び戻すお手伝いをし、みんなが元気になることを目的とする。

【メンバー】

デザイナー、建築家、写真家、書家、造園家、音楽家、教師など
約40名

【設立】

2006年12月から活動を開始



元気アートプロジェクト



九大病院小児医療センターの活動

ダイナミック書初め



ポストカードづくり



まつぼっくりクリスマスツリーづくり



もっと多くの病院の子どもたちに音楽を届けたい 

OnPalの設立 福岡市立こども病院への活動展開

【設立】 2013年4月設立、同12月特定非営利活動法人認証

【設立趣旨】

OnPalは、病気と闘いながら入院生活を送る子供たちを始め、病気、高齢、ストレスなどで元気をなくしている人々に、身近に音楽を楽しむ機会を提供し、音楽が持つエネルギー、魂に直接働きかける力によって元気になっていただくことを目的としています。

また、この活動に参加する音楽家やアーティスト、コーディネーターたちが優しさを共有し、新たな活動の場が広がり、私たちのまちが音楽あふれる心豊かなまちとなることを目指しています。

【会員】 ヴァイオリン、チェロ、フルート、オーボエ、マリンバ、ピアノ、声楽(ソプラノ、メゾソプラノ)の音楽家など20名

OnPalの思い



【設立趣旨】

小児医療の技術は日々進歩していますが、知識・会話・感性など人間にとって最も大切な能力が成長する時期を療養生活で過ごすことにとって、病院が行う施策・活動はほとんどなく、病院の取り組みは大変遅れているのが現状です。

また、長期入院児への学校教育の継続を目的に設置される「院内学級」は、専任の教員が学年の違う子どもを対象にすべての科目の授業を行うなど、教員への負担が大きく、子ども達にとっても学習意欲を高めることが難しい状況に置かれています。

子どもの病後の学校や社会への復帰を考えると、入院生活の心理的な負担を軽減する取り組みや、子どもの学習意欲やコミュニケーション能力などを高める活動が求められています。

OnPalでは、プロの演奏家による質の高い音楽授業やコンサートを実施することで、子ども達に刺激を与え、知識の学習だけでなく、入院生活で阻害されがちなコミュニケーション能力や感性を育てています。

将来子ども達が成長した時に心豊かな人間として成長するための一助になればと考えています

OnPalのプロへのこだわり



- OnPalの活動は、子どもたちに質の高い本物の音楽を届けることにこだわっています。
- そこで、活動は全てプロの音楽家が行います。
- 活動を行う音楽家にはOnPalから若干の謝礼を払います。
- ボランティア活動の質を高めるとともに、継続性を担保するためには、プロの音楽家の善意のみに頼るのではなく、一定の報酬を支払うことが必要と考えているからです。
- この為の費用は助成金や賛助会員の会費等によって賄われています。
- 活動をご理解いただく方々の善意を、プロの音楽家たちが音楽授業やコンサートという形に変えて、入院児たちに届けています。
- 一方で、支払う謝礼は十分なものではありませんので、活動に賛同いただく音楽家の善意に頼っている面もあります。

音楽授業



フルートとチェロとピアノ



オーボエとファゴット



フルート



コンサート



新たなプログラムの創作活動 うんち博士～動物たちの音楽会



もっと多くの病院の子どもたちに音楽を届けたい



OnPal 今後の活動展開

- ①4つ目の病院として国立病院機構福岡病院に打診中
- ②財政基盤や組織体制の充実、安定的な補助金の確保、賛助会員や協力企業等の勧誘、及び収益事業の開拓
- ③数年後には認定NPO法人化を実現
- ④活動のプログラムやノウハウをテキスト化して、OnPal会員以外の演奏家でも効果的に活動を行えるような仕組みをつくる。
- ⑤福岡以外の地域の団体や演奏家たちとも連携し、全国各地の病院に入院している子供たちに音楽と元気を届ける。

※2018年度に熊本市や佐賀市で活動を展開する予定

2018年度の活動計画



- ①音楽授業
九大病院・こども病院・福大病院で各3回
その他の病院でも実施を協議中
- ②コンサート
九大病院・こども病院・福大病院で各2回
その他の病院でも実施を協議中
- ③熊本市への活動展開
♪熊本大学病院、熊本赤十字病院等での活動開始を予定
※熊本大学教育学部特別支援学級科の協力を得て計画中
♪小児在宅支援施設:NEXTEPにおけるコンサートの実施
※障害児通所支援事業所「ボンボン」のクリスマスコンサート
- ④ノウハウのテキスト化と新ホームページ制作
※OnPal会員以外の演奏家でも効果的に活動を行えるような仕組みをつくる。これにより、全国への活動の普及を推進する。
- ⑤財政基盤や組織体制の充実、賛助会員や協力企業等の勧誘と、寄付税制等の優遇措置がある認定NPO法人化の早期実現を目指す。

OnPalの活動資金の現状

① 賛助会員会費

企業:1口10,000円 個人:1口3,000円

現在:企業6社21口、個人11名12口

② 補助金・助成金 2017年

・ベネッセこども基金

「重い病気を抱える子どもたちの学びの支援活動助成」

・日本財団

「歯の妖精 TOOTH FAIRY」



TOOTH
トウスフェアリー
FAIRY



OnPalが行う受託事業

OnPalが行う病院でのボランティア活動は、賛助会費、寄付金、日本財団をはじめとした助成金等で支えられています。

しかし、団体の運営や活動の発展のためには、今後、自主財源として収益事業に取り組むことも求められています。

現在、行っている収益事業には次のような事業があります。

① コンサートの開催

2017.8 福岡市文化芸術振興財団の依頼を受けて、OnPal室内合奏団を編成して、南市民センターにおいてコンサートを実施しました。

② パーティーや展示会等での演奏

数人のOnPalメンバーを派遣して、お客様に楽しんでいただきます。

③ 学校アウトリーチ

福岡市の依頼を受けて、小学校や中学校に出張して音楽授業を実施しています。

④ その他、演奏の依頼などお気軽にご相談下さい。

特定非営利活動法人OnPalを
よろしく願いたします